

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 仁

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,060	—	1,808	—	1,815	—	1,182	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	92.72	88.09
21年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、21年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、21年3月期第2四半期及び22年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	13,466	10,215	75.9	800.81
21年3月期	11,460	8,984	78.4	2,112.90

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 10,215百万円 21年3月期 8,984百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,653	58.4	2,998	235.3	2,995	254.9	1,799	282.1	141.03

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	12,756,000株	21年3月期	4,252,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	12,756,000株	21年3月期第2四半期	—株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成21年8月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。なお、配当の状況における22年3月期(予想)の1株当たり配当金及び平成22年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した株式数により算定しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降からの大幅な景気後退に対し、一定の持ち直しは見られたものの、民間需要の低迷や企業金融環境の厳しき等から、依然、本格的な回復には至りませんでした。

このような環境にあつて、当第2四半期連結累計期間におきましては、国内の衛生対策意識の高まりから、当社衛生管理製品「クレベリン」シリーズに対する需要が著しく拡大し、感染管理事業の売上高が飛躍的に伸長致しました。また、国内止瀉薬市場の縮小影響や海外市場における円高影響等はあつたものの、主力製品『正露丸』や『セイロガン糖衣A』を中心とする医薬品事業におきましては、引続き国内、海外市場ともにシェアの維持、拡大に注力致しました。

利益面につきましても、衛生管理製品の生産数量増加に伴う原価率の改善や販売費及び一般管理費の効率的な運用により、営業利益率が著しく上昇致しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が5,060百万円、営業利益が1,808百万円、経常利益が1,815百万円、四半期純利益が1,182百万円となりました。

また、事業の種類別状況につきましては以下の通りであります。

## (医薬品事業)

国内市場におきましては、新たなTVコマーシャルの放映や販売店の店頭施策実施等もあり、特に『セイロガン糖衣A』の牽引により引続きシェアを維持し、海外市場におきましても中国での出荷数量が伸長したことから、円高影響を吸収しつつ堅調な推移となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の医薬品事業は、売上高が2,529百万円、営業利益が1,140百万円となりました。

## (感染管理事業)

衛生対策に関する意識と製品需要が高まる中、主にドラッグストアやコンビニエンスストア等からの当社製品に対する受注増加に一層の拍車がかかりました。一般用製品につきましては、新たな販売チャネルの獲得や新製品となる『クレベリン マスク』や『クレベリン ハンドジェル』の出荷も開始し、業務用につきましては、販売代理店施策の強化等により「クレベリン」シリーズの受注増加に繋げ、可搬型の低濃度二酸化塩素ガス発生装置『リスパス S』も出荷致しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の感染管理事業は、売上高が2,510百万円、営業利益が1,471百万円となりました。

## (その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売により、売上高が21百万円、営業利益が5百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は13,466百万円（前連結会計年度末比2,006百万円増）となりました。また、負債合計は3,251百万円（同775百万円増）、純資産合計は10,215百万円（同1,231百万円増）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、感染管理事業の伸長に伴う売上債権の増加等による流動資産1,895百万円の増加や、未払法人税等の増加等による流動負債755百万円の増加及び四半期純利益計上による株主資本1,161百万円の増加等であります。なお、自己資本比率につきましては、前連結会計年度末から2.5ポイント低下し、75.9%となっております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が前連結会計年度末より414百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は2,881百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は264百万円となりました。税金等調整前四半期純利益1,803百万円に加え、減価償却費93百万円や賞与引当金の増加85百万円等による非資金費用の計上の一方、売上高伸長に伴う売上債権の増加額2,024百万円等の運転資本増加や、法人税等の支払額175百万円等の計上によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は144百万円となりました。主に、生産設備に係る有形固定資産の取得等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は26百万円となりました。主に、配当金の支払いによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表致しました通り、平成22年3月期連結会計年度の業績を以下の通り予想しております。

連結業績予想（前連結会計年度との比較）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 実績	当連結会計年度 予想	増減額	増減率
売上高	6,094	9,653	3,559	58.4%
営業利益	894	2,998	2,104	235.3%
経常利益	843	2,995	2,151	254.9%
当期純利益	470	1,799	1,328	282.1%

事業の種類別連結売上高（前連結会計年度との比較）

	前連結会計年度 実績	当連結会計年度 予想	増減額	増減率
医薬品事業	4,887	4,759	△128	△2.6%
感染管理事業	1,167	4,857	3,689	316.0%
その他事業	38	36	△2	△7.3%
売上高合計	6,094	9,653	3,559	58.4%

当連結会計年度（以下、当期）につきましては、感染管理事業の飛躍的な成長により、当該事業の売上高が、基幹事業である医薬品事業の売上高をも上回って、著しく増加することを見込んでおります。これにより、当期の連結売上高を対前連結会計年度（以下、前期）比3,559百万円増（58.4%増）となる過去最高の9,653百万円と予想しております。

一方、費用面につきましては、下期に感染管理事業の製品ブランドである「クレベリン」の認知率向上に向けた広告宣伝や研究開発の強化を計画し、また、成長に伴う人材強化のための人件費や採用経費等の増加もあり、当期の販売費及び一般管理費は前期に比較し、相応に増加することを見込んでおります。しかしながら概して売上高の伸びに伴うことなく効率的な運用を図ることから、当期の営業利益を対前期比2,104百万円増（235.3%増）となる2,998百万円と、大幅な増益を予想しております。また、経常利益、当期純利益も同様に増益を見込み、各利益は最高益を更新する見通しであります。

事業の種類別状況につきましては、以下の通り予想しております。

医薬品事業につきましては、3ページ「1. 連結経営成績に関する定性的情報」にて記載の通り、国内、海外市場ともシェアの維持、拡大に注力しております。ただし、前期との比較におきましては、海外市場における円高影響や下期での中国向け売上高の若干の減少を見込み、当期の売上高を対前期比128百万円減（2.6%減）となる4,759百万円と予想しております。

また、感染管理事業につきましても3ページにて記載の通り、上期は国内における衛生対策意識の高まりにより、当社の衛生管理製品に対する需要が拡大致しましたが、下期も一層の拡大を想定しており、当期の売上高を対前期比3,689百万円増（316.0%増）となる4,857百万円と予想しております。

なお、下期の売上高は第3四半期をピークとする一方、第4四半期は季節的に販売店側が店頭陳列商品を見直すことが予想され、衛生管理製品の受注減少と返品率の上昇を想定することから、著しく低調となることを見込んでおります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,940,488	3,335,423
受取手形及び売掛金	3,413,592	1,387,698
商品及び製品	463,035	487,298
仕掛品	727,370	581,446
原材料及び貯蔵品	246,470	284,708
その他	326,880	130,475
貸倒引当金	△25,660	△10,322
流動資産合計	8,092,176	6,196,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,184,004	1,177,867
機械装置及び運搬具(純額)	233,328	232,021
土地	2,653,922	2,653,922
その他(純額)	145,886	103,600
有形固定資産合計	4,217,142	4,167,410
無形固定資産	67,453	47,829
投資その他の資産	1,089,798	1,048,101
固定資産合計	5,374,393	5,263,342
資産合計	13,466,570	11,460,070
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	673,273	795,956
未払法人税等	730,811	176,348
返品調整引当金	51,500	14,000
賞与引当金	219,823	134,110
その他	777,446	576,864
流動負債合計	2,452,855	1,697,279
固定負債		
退職給付引当金	193,549	186,393
役員退職慰労引当金	564,400	560,700
その他	40,634	31,637
固定負債合計	798,584	778,730
負債合計	3,251,439	2,476,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,271	96,271
資本剰余金	7,500	7,500
利益剰余金	10,106,161	8,944,705
株主資本合計	10,209,932	9,048,476
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,675	△11,059
為替換算調整勘定	△36,477	△53,356
評価・換算差額等合計	5,198	△64,415
純資産合計	10,215,130	8,984,060
負債純資産合計	13,466,570	11,460,070

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,060,104
売上原価	1,346,524
売上総利益	3,713,579
返品調整引当金戻入額	14,000
返品調整引当金繰入額	51,500
差引売上総利益	3,676,079
販売費及び一般管理費	1,867,671
営業利益	1,808,407
営業外収益	
受取利息	16,271
受取配当金	1,397
受取賃貸料	9,682
その他	8,079
営業外収益合計	35,431
営業外費用	
為替差損	28,329
その他	450
営業外費用合計	28,780
経常利益	1,815,058
特別損失	
固定資産除却損	3,213
投資有価証券評価損	7,974
特別損失合計	11,187
税金等調整前四半期純利益	1,803,870
法人税、住民税及び事業税	729,560
法人税等調整額	△108,405
法人税等合計	621,154
四半期純利益	1,182,716

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	1,803,870
減価償却費	93,815
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,155
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,700
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	37,500
賞与引当金の増減額 (△は減少)	85,713
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,322
受取利息及び受取配当金	△17,669
固定資産除却損	3,213
投資有価証券評価損益 (△は益)	7,974
為替差損益 (△は益)	16,820
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,024,041
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△82,360
仕入債務の増減額 (△は減少)	△140,311
未払金の増減額 (△は減少)	109,408
その他	△26,871
小計	△106,758
利息及び配当金の受取額	17,646
法人税等の支払額	△175,230
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△264,342</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△53,845
定期預金の払戻による収入	36,530
有形固定資産の取得による支出	△99,281
投資有価証券の取得による支出	△686
その他	△26,915
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△144,198</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
リース債務の返済による支出	△4,970
配当金の支払額	△21,260
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△26,230</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△414,169
現金及び現金同等物の期首残高	3,295,755
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,881,585

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	医薬品事業 (千円)	感染管理事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,529,008	2,510,016	21,078	5,060,104	—	5,060,104
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,529,008	2,510,016	21,078	5,060,104	—	5,060,104
営業利益	1,140,619	1,471,790	5,469	2,617,880	(809,472)	1,808,407

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製商品
医薬品事業	胃腸薬「正露丸」、「セイロガン糖衣A」、「ラッパ整腸薬BF」
感染管理事業	二酸化塩素関連製品「クレベリン」、「リスパス」
その他事業	木酢関連製品

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	中国・香港 (千円)	台湾 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,562,185	449,350	48,568	5,060,104	—	5,060,104
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	352,766	266,027	—	618,793	(618,793)	—
計	4,914,951	715,377	48,568	5,678,897	(618,793)	5,060,104
営業利益(又は営業損失)	2,388,663	204,542	△11,564	2,581,641	(773,233)	1,808,407

(注) 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	中国・香港	台湾	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	449,350	48,568	19,242	517,162
II 連結売上高(千円)				5,060,104
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合(%)	8.9	0.9	0.4	10.2

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国または地域の内訳は次の通りであります。

その他の地域・・・米国、カナダ、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。